【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公表番号】特表2010-501501(P2010-501501A)
【公表日】平成22年1月21日(2010.1.21)
【年通号数】公開・登録公報2010-003
【出願番号】特願2009-524955(P2009-524955)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｐ　27/02
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年8月17日(2010.8.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光感受性イオンチャネル遺伝子またはその活性フラグメントを有効成分として含む、盲目の処置または軽減用薬剤。
【請求項２】
光感受性イオンチャネル遺伝子がロドプシン遺伝子である、請求項１に記載の薬剤。
【請求項３】
ロドプシン遺伝子がチャネルロドプシン－２(ＣｈＲ２)である、請求項２に記載の薬剤。
【請求項４】
光感受性イオンチャネル遺伝子を、ＯＮ－双極性細胞、ＯＮ－ガングリオン、またはＡＩＩアマクリン細胞の少なくとも１つに投与し、発現させる、請求項１～３のいずれかに記載の薬剤。
【請求項５】
光感受性イオンチャネル遺伝子をＡＩＩアマクリン細胞に投与し、発現させる、請求項４に記載の薬剤。
【請求項６】
該光感受性イオンチャネル遺伝子を細胞特異的プロモーターの方法により制御する、請求項１～５のいずれかに記載の薬剤。
【請求項７】
光感受性イオンチャネル遺伝子を、ｍＧｌｕＲ６プロモーターまたはその機能性フラグメントもしくは誘導体により制御する、請求項６に記載の薬剤。
【請求項８】
ｍＧｌｕＲ６プロモーターの制御下にチャネルロドプシン－２(ＣｈＲ２)を含む；盲目

の処置用医薬の製造において有用な構築物。